

テイカ株式会社 大阪工場

1. 事業所の概要

テイカ株式会社大阪工場は、大阪市の中心地から南西に位置し、また、西に港区、南に住之江区と隣接し、木津川と木津川運河に囲まれた大正区の工業地域の一角にある敷地面積約62,000㎡、従業員約200名が働く化学工場です。

当工場は、1919年（大正8年）に過燐酸肥料および鉛室法硫酸を製造販売する帝国人造肥料株式会社として操業を開始した当社発祥の地でもあります。その後、ルルギ式による各種硫酸の製造及び硫酸製造技術を活かした界面活性剤等の製造を始め、現在では、無公害型防錆顔料、導電性高分子関連製品等を含めた製造・販売により、社会への貢献を目指して活動しています。



2. RC基本方針

全従業員の創意・工夫を集結し、製品の設計・開発・製造から物流・使用を経て最終消費・廃棄に至るまで全ライフサイクルにわたり「自己責任」・「自己管理」を基本原則に、環境・安全・健康への取り組みを事業経営の最重要課題と認識し、事業活動、製品及びサービスの全ての面で継続的な改善に取り組んでいます。

3. RC活動の状況

テイカ株式会社はレスポンシブル・ケア委員会に所属し、環境・安全・健康について毎年社内の内部監査を実施しています。更に、平成12年には大阪工場地区、岡山工場地区ともにISO14001を取得し、環境の保全及び汚染の予防の維持・改善を行っています。

また、国内外の化学物質規制、顧客要望に応じた含有化学物質管理、電子マニフェスト導入・産業廃棄物処理委託業者に対する現地確認等産業廃棄物の適正処理のための管理強化に対しても、積極的に取り組んでいます。

4. 環境保護

大気及び水域への環境負荷物質の排出量削減に対しては、法規制値・条例値の他に自主規制値を設け、省エネルギーの面では、コジェネレーションシステムを導入し、環境負荷の低減に努めて、環境対策に積極的に取り組んでいます。

排出水・排出ガスについては、処理施設を定期的に更新し、汚染負荷の継続的な低減に努めています。

5. 社会とのコミュニケーション

地域社会との交流としては、大阪市環境経営推進協議会・化学食品等安全推進委員会並びに防災関連の大阪市防火管理協会・危険物安全協会に加盟し、環境・安全活動を推進しています。

当工場は、大正区内で危険物タンクを多く保有する危険物取扱所です。このため、消防訓練にあたっては、大正消防署と合同で、署員と自衛消防隊員の連携を重視した放水訓練を定期的実施しています。また、当工場自衛消防隊は、大正区内の大正自衛消防協議会技術発表会に積極的に参加し、ポンプ操法で、優秀な成績を残しています。

一方、地域の学生に対しては、工場見学会を実施し、企業活動への理解を深める活動もしています。更に、地域の環境保全活動の一環として、事業所周辺の清掃等を定期的実施し、地域美化運動に積極的に取り組んでいます。

また、救命講習会を実施するとともにAED（自動体外式除細動器）を設置、社外の方にもお使い頂けるようにしています。

